



平成 16 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 横 井 太
(コード番号 2784 東証・大証各一部)
問合せ先 執行役員広報・IR部長 長谷部 省三
(TEL: 03-5219-5102)

「ブラディオ」の測定試薬開発およびその事業化連携について

アルフレッサ ホールディングス株式会社の完全子会社である、医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:久禮哲郎)は、癌の分子マーカーとして早期検出・治療薬ターゲットとなる「ブラディオ」の測定試薬開発に本格的に着手いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 開発に至った経緯

現在、癌は日本人における死亡率第一位の疾病であり、その早期発見および治療は重要な課題となっています。ブラディオは、大腸癌、前立腺癌等、特殊な癌細胞の標的酵素として、独立行政法人産業技術総合研究所および東海大学医学部の共同発見物質です。

その後、ブラディオプロジェクトリーダーの田中真奈実博士(産総研バイオニクス研究センター内および東海大学医学部教授)を中心にブラディオの遺伝子構造、蛋白質組成が解析されるにつれ、発癌や癌の進行との関係を解明し、その成果を治療も含めたトータル制御システムへと応用しつつあります。

アルフレッサ ファーマ株式会社では、この基礎解析に基づき、ブラディオをマーカーとした測定試薬の開発について基礎検討を進めてまいりましたが、このたび本格的に取組むことにいたしました。

2. ブラディオの特徴

ブラディオは、近年日本において患者が増加している大腸癌や前立腺癌等の患者の癌細胞において特異的に造られ、癌の増殖に深く関与していることや、アルフレッサ ファーマ株式会社における基礎検討により癌患者の血液中に存在し健常者血液中には存在しないことが解りはじめました。これはブラディオが特定の癌細胞のみで生成されることによります。

3. アルフレッサ ファーマ株式会社の取組み

アルフレッサ ファーマ株式会社は、金コロイド法を測定原理とする便潜血検査試薬、腫瘍マーカー等の試薬開発、製造、販売を行っており、ブラディオ測定試薬におきましても同技術により開発を行います。金コロイド試薬は種々検査機器への適用が可能であり、短時間で結果が得られることから、ブラディオ測定試薬の製品化により、癌の早期診断、早期治療の開始や、癌の進行度、癌治療のモニタリング等への利用が期待されます。

アルフレッサ ファーマ株式会社は、このような開発によって、21世紀の医療システムのかなめとなる、分子マーカー医療に積極的に取組みます。また、広く癌検査薬をみなさまに還元することで、一層の健康増進プログラムの充実に貢献します。なお、臨床研究には、東海大学医学部を始め、秋田大学医学部、佐賀大学医学部、防衛医科大学学校など、多数の最先端医療実施機関と連携し、成果の充実に努めてまいります。

以上